

新しい技術で夏場の「困った」を解決！

### Q. 水やり回数を減らしたい！

A. 底に水を溜める底面給水型プランターを使うと、真夏でも水やりの回数を少なくできます。



〔底面給水型プランター〕



〔実用例（シンボルブロムナード公園）〕

週1回の水やりでも元気に育ちます。



### Q. 寄せ植えのデザインが保てない！

A. 丈夫で生育が旺盛な植物は、ポットの底を切ってポットごと植え付けると、デザインを維持しやすくなります。ただし、底面給水型プランターを使うか水やりの回数を増やす必要があります。



育ちすぎてボサボサになった寄せ植え

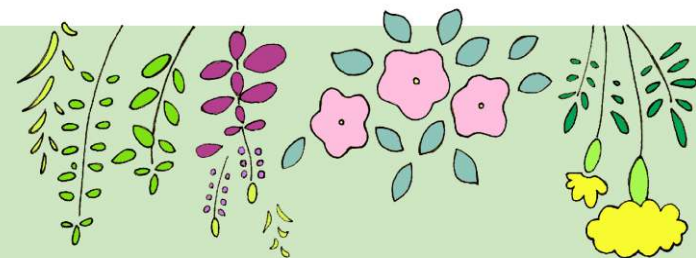


ポットの底を切り取った様子



始めてみよう 夏の花壇づくり

～誰でもわかる夏花壇の作り方～



### Q. 球根植物を長く楽しみたい！

A. ユリなど球根植物は、開花期の違う品種を混ぜて植えると花壇を長く彩ることができます。



A：ソルボンヌ



B：シベリア

開花の早いイエローダイヤモンドが咲いている花壇その後、開花がやや遅いソルボンヌ (A)、シベリア (B) の順に咲きます。

### 編集

東京都農林総合研究センター  
千葉県農林総合研究センター  
埼玉県農業技術研究センター



詳しく知りたい方は「夏花による緑化マニュアル」をご活用ください



このリーフレットは、農水委託プロジェクト「国産花きの国際競争力強化のための技術開発」を活用し作成しました

## ◇ ステップ 1

あなたにオススメの夏花はこれ！

植えたい場所の日当たりは？

- A 半日以上、日向になる
- B 半日以上、日陰になる

水やりはできますか？

- A 毎日でもOK!
- B なるべくラクしたい

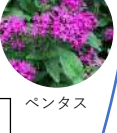
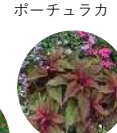
② ちょっとズボラなあなたには…

① 愛情たっぷりお世話が  
できるあなたには…

- ☆アゲラタム
- ☆アサガオ
- ☆アングロニア
- ☆カリブラコア
- ☆サルビア
- ☆ジニア
- ☆ペチュニア
- ☆マリーゴールド
- ☆ハゲイトウ
- ☆ユリ



- ☆ピンカ (にちにちそう)
- ☆トウガラシ
- ☆ペンタス
- ☆ポーチュラカ
- ☆メカルドニア
- ☆ゼフィランサス
- ☆カンナ
- ☆ケイトウ
- ☆コリウス



乾燥に強い種類や  
底面給水型プランター  
を利用すると水やりが  
ラクに！

お花を植えたい場所に水やりをすると…

- A すぐに土にしみ込む
- B 水たまりができる

③ 暑さが苦手な  
あなたには…

花壇の水はけ改善 or  
プランターを用意して③へ

- ☆ニューギニアインパチェンス
- ☆ピンカ (にちにちそう)
- ☆カラジウム
- ☆コリウス
- ☆センニチコウ
- ☆トレンシア
- ☆ペゴニア
- ☆ペンタス



センニチコウ

トレンシア

カラジウム

日陰に強い種類がオススメ！

## ◇ ステップ 2

植え付け前のポイント！

### ☆ 水はけを良くしよう

粘土質でくずれにくい土や、コケが生えている土は水はけが悪い証拠なので、腐葉土などを混ぜます。コンテナの場合は、市販の培養土を使用すると簡単です。

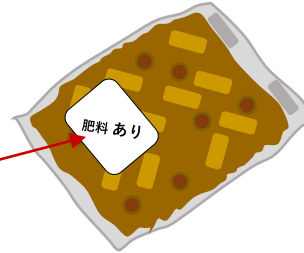


握ってくずれる程度ならOK!

市販培養土を購入する際には、極端に臭いがきついものや重いものは避けましょう。

### ☆ 肥料をあげよう

肥料が不足すると、大きくなりず、花が咲かなくなります。植え付け前に市販の園芸用肥料を土に混ぜます。



肥料が含まれている培養土を使用する場合には、植え付け前に肥料は混ぜなくてOK!

### ☆ 植え付けの間隔に注意

隙間なく植えると間延びし、種類によっては花つきが悪くなります。花壇の場合は 20 ~ 30 cm、プランターの場合は 10 cm ほど離して植えます。



5月下旬

完成形をイメージ



6月下旬

横に広がるタイプの品種を花壇に植える場合、30 cm 離して植えても1ヵ月後には地面が花で見えなくなります (写真：ペチュニア)

## ◇ ステップ 3

植え付け後のポイント！

### ☆ 水やりは始めの一週間が肝心

植え付け直後は水をたっぷりとあげ、その後も根が張るまで最低1週間はこまめな水やりが大切です。その後は、表面が乾いたら水やりします。



水やり間隔  
1日おき、2日おき、3日おき

水やり回数が少ないと、植え付け10日後の根の量が半分以下になります (写真：ジニア)

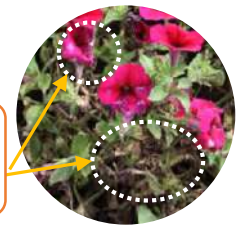
植え付け時に活力剤や活着促進剤を使うことも有効です！

### ☆ 日々のお手入れでもっとキレイに

枯れた花や葉はこまめに取り除けば、風通しが良くなり、病気を防ぎ長く花を楽しめます。害虫を見つけた時は、早めに取り除きます。



ハスモンヨトウ (クルクマ)  
葉や花が食べられ、穴が開く



灰色かび病 (ペチュニア)  
花にシミがつき、葉が枯れる

枯れた葉や花を  
早めに取り除く

花が次々咲いてきたり、葉の色が薄くなり始めたりしたら、花用の固形肥料や液体肥料をあげます。

固形肥料は苗あたり1~2gを1ヵ月に1回、液体肥料は使用方法の濃度に薄めて、2週間に1回程度あげます

